

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	Protools1(Avid認定ProTools101)	
科目基礎情報							
開設学科	音響芸術科		コース名	全コース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	4単位					授業形態	講義
教科書/教材	Avid認定のProTools101テキスト						
担当教員情報							
担当教員	吉田 光宏			実務経験の有無・職種	有・ミュージッククリエイター/AVID認定トレーナー		
学習目的							
世界中の音楽スタジオや楽曲作成には欠かせない音楽ソフトウェアのProTools。このソフトウェアの基本的な操作と、概念をマスターし、音楽関連の現場でエンジニアとして働く者として常識となる技術を習得する。音楽録音は磁気テープ録音の始まりからマルチトラックレコーディングへと進化しライブでは実現不可能なサウンドも形成できるようになった。その流れを組むProToolsは磁気テープ録音の制約を超えた新しいサウンド作成としてもかかせない物であり、コンピュータを楽器として、レコーダーとして使用するため、アニメーションをはじめとする映像分野との連動も高くなっている。ProToolsを通じてレコーディングエンジニア、MAエンジニア、ラジオスタッフのあらゆる場面で活躍できることを目的とする。							
到達目標							
Ⅰ年次にAvid社公認プロツールスオペレーター101の取得を必修とする。この資格はPro Tools の設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格である。日本のみならず世界中のプロダクション等にPRできる強みがある。Pro Toolsの高い専門性を生かし、音楽、映像、放送など幅広い録音現場におけるエンジニアとして活躍できる機械を増やすためにも資格を取得する。資格試験の実施には日本国内では本校のような学校が環境、講師ともに最新の技術を導入している必要があり、毎年Avidに認定される必要がある。その貴重な機会を活かす。							
教育方法等							
授業概要	Avid認定のProTools101テキストを使用する。こちらにはProTools全般の操作と様々な用語が解説されている。一見、難解な専門用語も多くあるため、経験ある講師によって具体的な操作を用いながら解説される。講義教室での解説にはProToolsの画面を表示しながら、実際に現場で使われた音素材を参考にどのように変化していくか、聞きながら学ぶ事になる。音で聞きながら目でも確認することを心がけて参加する。						
注意点	この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	80%	授業内容の理解度を確認するために実施する。				
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ProToolsでできること			世界中のスタジオで使われている理由を理解する			
2回	セッション及びプロジェクトの作成			プロツールスでの初期設定と録音を始める為の準備ができる			
3回	オペレーティングの基礎			録音・再生の基本操作ができる			
4回	各種ウィンドウ			様々なウィンドウの役割を理解する			
5回	録音とファイル形式			オーディオの録音とオーディオファイルの理解。オーディオの選択と再生操作ができる			
6回	メディアのインポート			外部ファイルの読み込みができる			
7回	MIDIとインストゥルメント			Pro ToolsのMIDI機能。バーチャルインストゥルメントを使用できる			
8回	ナビゲーション機能			ナビゲーション機能。リージョンの作成とメモリーロケーション機能を理解する			
9回	編集モードと編集ツール			編集モードと編集ツールの使い方ができる			
10回	パンチレコーディングとループ			パンチレコーディングとループレコーディングの違いがわかる			
11回	セッションとファイルの管理			セッションファイルとオーディオファイルの管理ができる			
12回	ワークスペースブラウザー			ワークスペースブラウザーの使用ができる			
13回	エフェクト処理			ミキシングテクニック。エフェクト処理等ができる			
14回	楽曲の仕上げ			マスタリングと注意点を理解する			
15回	ProTool s 101試験について			試験の概要、対策			